

授業科目 検査技術実習

【担当教員名】 土屋 康雄、長濱 大輔、尾崎 京子、生駒 俊和、 大山 富三、池上 喜久夫、浅井 孝夫		対象学年	1	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎			○	◎	
【一般目標：GI0】 臨床検査で使用する検査機器や分析器の使用方法を習得する。 採血の基本的な手技を習得する。					
【行動目標：SBO】 1. 採血の手技を行う。 2. 化学容量器を操作する。 3. 秤量装置を操作する。 4. 遠心分離装置を操作する。 5. 滅菌装置を操作する。 6. 測光装置を操作する。 7. 顕微鏡装置を操作する。 8. 電気化学装置を操作する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1-8	採血 採血の基本的な手技	1	講義・実習、担当：生駒 俊和 他		
9-12	測光装置 分光光度計の使用法	6	講義・実習、担当：土屋 康雄 他		
13-14	化学容量器 容量器（測容器）の使用法	2	講義・実習、担当：土屋 康雄 他		
15-16	秤量装置 天秤の使用法	3	講義・実習、担当：長濱 大輔 他		
17-18	遠心分離装置 汎用遠心分離機の使用法	4	講義・実習、担当：土屋 康雄 他		
19-20	滅菌装置 滅菌器の使用法	5	講義・実習、担当：尾崎 京子 他		
21-22	顕微鏡装置 光学顕微鏡の使用法	7	講義・実習、担当：長濱 大輔 他		
23-24	電気化学装置 pH メータの使用法	8	講義・実習、担当：長濱 大輔 他		
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料	配布資料				
【評価方法】 実技試験 100% 実習中に実技をチェックして評価する。		【履修上の留意点】 実習を受講するにあたっての基本的な手技を習得すること。慎重に行わないと危険を生じる可能性もあるので、担当教員の指示をしっかりと理解して臨むこと。注意しても危ないと担当教員が判断した場合、実習に参加できないことがある。			